

医薬保健学総合研究科 医学専攻
【授与する学位】博士（医学）

<p style="text-align: center;">大学（大学院）の目的</p> <p>金沢大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。博士課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。</p>	<p style="text-align: center;">学類（研究科）の教育研究上の目的</p> <p>医薬保健学総合研究科は、医学、薬学及び保健学の教育、研究及び診療を通して、地域貢献、世界への情報発信並びに優秀な高度医療人、研究者及び専門的職業人を養成及び輩出することを目的とする。博士課程は、世界水準の研究を展開出来る拠点形成を行い、生命医学の各分野において、高い識見と世界的な広い視野で活躍し、斯界のリーダーとなる研究者及び医療人を養成することを目的とする。医学専攻は、生命医学の各分野において、高い識見と世界的な広い視野で活躍し、世界のリーダーとなる研究者及び医療人を養成することを目的とする。</p>
---	--

ディプロマ・ポリシー（DP）	カリキュラム・ポリシー（CP）	アドミッション・ポリシー（AP）
<p style="text-align: center;">【修了認定・学位授与に関する基本的考え方（前文）】</p> <p>医学・生命科学分野で活躍する国際水準の研究者・教育者、高い研究志向を備えた臨床医、研究マインドを持つ医療人や医系行政官といった人材の育成が社会から期待されている。そのため、医学専攻では、担当教員同士の緊密な連携のもと、各研究分野の垣根を超えた総合的な教育・研究指導を行うことにより、高度な医学的知見を修得するとともに、国内外の文献の精読や学会発表、論文作成等を通じて国際通用性をも備えた研究遂行能力を養成する。次の学修成果を満し、所定の単位を修得し、さらに博士論文の審査及び最終試験に合格したのに対して博士（医学）を授与する。</p>	<p style="text-align: center;">【教育課程編成に関する基本的考え方】</p> <p>医学専攻においては、医学・生命科学分野で活躍する国際水準の研究者・教育者、高い研究志向を備えた臨床医、研究マインドを持つ医療人や医系行政官を育成するというキャリア教育を実践するために、全専攻共通の大学院GS発展科目、専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実験、実習を適切に組み合わせた授業科目を開講する。具体的な教育課程については、次のように定める。</p>	<p style="text-align: center;">【入学受入れに関する基本的考え方（前文）】</p> <p>医学専攻では、医学・生命科学分野に対する強い興味と飽くなき探究心を持ち、学際的、国際的な視点や、新たな課題を自ら見出し解決してゆく能力や創造力を磨くことに意欲を持っている人を求めます。具体的には、次のような学生を求めています。</p>
<p style="text-align: center;">【学生が身に付けるべき資質・能力】</p> <p>(1)医学研究倫理・行動規範を身につけている。 (2)医学・生命科学の高度な専門的知識を基に疾病機構や病態を理解できる。 (3)国内外の論文・文献精読、実験、医療活動、フィールド調査等により、未解決事象、疑問点や課題を抽出することができる。 (4)研究を行うにあたり自ら仮説を立て、検証することができる。 (5)得られたデータを整理して理解し、研究者間で議論を行い、総合的に客観的立場でまとめあげることができる。 (6)論文作成や学会発表を通じ、国際通用性をも備えた発表能力を持つ。 (7)研究成果を社会に還元する重要性を理解し、実現に向けて努力できる。 (8)生涯にわたって医学・生命科学の発展に寄与する高い学修意欲を持っている。</p>	<p style="text-align: center;">【教育内容・教育方法（教育課程実施）に関する基本的考え方】</p> <p>1 教育内容 (1)授業科目としては、「基礎科目群（必修科目と選択科目）」「領域融合科目（選択科目）」「専門科目群（選択科目）」を設け、医学・生命科学に関する幅広い知識を養うカリキュラムを提供する。 (2)初年次から、生命・研究倫理に関する科目、生物統計に関する科目、プレゼンテーションの方法論に関する科目などの科目を開講し、生命医療科学者として身につけるべき生命倫理、研究者倫理、生命科学研究に不可欠な情報処理能力に関するカリキュラムを設ける。 (3)実習・演習では、当該分野における高度な知識とトピックスを学ぶと共に、学位論文研究のデザイン構築に至るまでの実験技術を養うカリキュラムを置く。 (4)個別の研究指導を通じて、自らのデータの解釈、整理の後、英語による論文作成に至る高度な実践的研究能力を養うカリキュラムを構成する。</p> <p>2 教育方法 (1)授業科目は学生が主体的に学ぶアクティブラーニングも取り入れる。 (2)最先端研究の紹介を行い、各専門分野における国際レベルの研究を学び、将来、先端生命科学を通して国際貢献できる能力を養うためのカリキュラムを構成する。 (3)社会人に対し開講時期・時間を配慮すると共に、留学生に対して英語による授業で修了できるカリキュラムを提供する。</p>	<p style="text-align: center;">【求める人材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医学・生命科学の創造的研究、学際的研究、国際的研究を志す人 ●医療行政、国際医療協力といった多様な分野において社会への貢献を目指す人 ●高度先端医療及び全人的医療を志す人 ●社会人として活躍しながら研究を志す人（社会人入学制度と連携し、生涯教育を充実・普及させる） ●研究・教育を通して、将来の我が国及び諸外国の医学・生命科学に貢献する能力と熱意を持つ人 ●医学・生命科学の分野で国際的に活躍したい外国人留学生
	<p style="text-align: center;">【学修成果の評価】</p> <p>(1) 授業科目に対して成績評価の基準及び方法については、シラバスに明記し、それに基づいて、学修の成果を評価する。 (2) 医学専攻の博士論文に関して、同専攻学生の学位請求に関する内規、論文審査要領、論文審査基準に定める審査の方法により審査し、評価を行う。</p>	<p style="text-align: center;">【選抜の基本方針】</p> <p>選抜の基本方針としては、医学・生命科学研究者、高度先端医療人、医系行政官として世界水準の研究を行うために必要な英語能力及びコミュニケーション能力、基礎研究・臨床研究に関する十分な素養、そして自ら進んで課題に取り組む積極的な姿勢を重視します。具体的には、学力検査と成績証明書等の結果を総合して選抜を行います。</p>
		<p style="text-align: center;">【入学までに身に付けて欲しい教科・科目等】</p>